

京丹波 議会だより



京丹波町
KYOTAMBA TOWN

第15号
平成21年1月19日



長老ヶ岳の日の出



京丹波町議会
議長 岡本 勇

年頭の ごあいさつ

新年明けまして
おめでとうござ
います。

21年の輝かしい新春をご
家族おそろいでお迎えにな
りましたこと心からお慶び
申し上げます。

京丹波町も合併して4年
目を迎えました。この3年
間で旧町からの継続事業も
一応目途が付き、今年から
新町の計画に沿い、協働の
町づくりの実現に向けて具
体的に取り組みようとして
しております。議会・議員と
しても残された任期を精一
杯努力し寄与することを誓
い、京丹波町の更なる飛躍
と発展を願い、併せてみな
さまのご多幸を念じ年頭
のご挨拶いたします。

議会だより 京丹波 第15号 発行日 平成21年1月19日

発行/京都府京丹波町議会
〒822-0292 京都府船井郡京丹波町蒲生八ツ谷62番地6
TEL. 0771-82-3805 FAX. 0771-82-2816

E-mail: gikai30@town.kyotamba.kyoto.jp
URL: http://www.town.kyotamba.kyoto.jp/gikai/



これからも ホッケーをがんばりたい

一谷 奈歩さん(蒲生野中)
徳岡 尽美さん(〃)
山下 留依さん(〃)
上林 麻佑さん(瑞穂中)

昨年、11月30日から12月6日まで
の7日間、オーストラリアのキャン
ベラで行われたホッケー国際大会に
遠征した4人の皆さんに、遠征の感
想や今後の抱負を語っていただきま
した。

16歳以下が参加するU-16ジュニ
アユースホッケー女子日本代表の選
手団は18人で、そのうち本町から4
人が出場。主将をつとめた
一谷さんは、日本代表の
18人のみんなと一緒に
打ち解けて楽しく試
合をすることができ
たと振り返りました。
小学校からホッケー
を始め、熱心に練習
を重ねてきたみなさんは、

実際に外国の選手と試合をする中で
体格の違いもあり、思い通りに行か
ないこともあったが、思い切ったプ
レーが、自信を持ってできたことは、
大変勉強になったと感想を語りまし
た。

開会式と閉会式での、交流の場では
会話も通じたことで、収穫のあつ
た遠征とうかがえました。

今後は、それぞれ目指
す学校が違つたため、ライ
バルになるが、レベルア
ップし、高校でもチーム
のために活躍できるよう
にがんばりたい。また、
海外でもプレードキ
るようがんばりたいと
力強い言葉が返ってきた。

みなさんの今後の活躍
を期待するとともに、こ
れを機に、議会だよりを
読んでくださいとお願い
し、取材を終えました。



左から、山下さん、一谷さん、徳岡さん、上林さん



議会の傍聴に おこしく下さい!

次回の議会日程は下記のとおりです。

3月定例会

3月6日(金)
午前9時から

傍聴の手続きは簡単ですので、
皆さんお気軽に傍聴におこしく
下さい。(受付簿に住所・氏名を記
入するだけです)

一般質問や委員会日程などの詳
しい内容は2月下旬の議会運営委
員会で決定されます。

お問い合わせ

議会事務局 TEL 82-3805
FAX 82-2816

編集後記

新年明けましておめでとう
ございます。

広報委員会もメンバーが
入れ替わりようやく丸一年を
迎えました。読者の皆さんには、
まだまだ課題の残る紙面づく
りと感じておられることと思
いますが、今後も皆さんに読
みやすい広報をめざし取り組
んでいきます。お気づきの点
どうぞしお寄せください。

(N・K)

[表紙写真提供：加島章一氏]

(敬称略)

【教育委員の任命】

大西 弘二(質美) 新任
梅原 千里(市場) 新任
【公平委員会委員の選任】
山本 和之(高岡) 新任

【固定資産評価審査委員会委員の選任】

林 勝治(質美) 新任

【人権擁護委員候補者の推薦】

野口 正利(豊田) 再任
原澤 淑子(高岡) 再任
西田 光子(下大久保) 再任
友金 一郎(大朴) 新任

【農業委員会委員の推薦(議会推薦)】

大崎栄美子(水戸) 再任
神谷みつ子(質志) 再任
山本眞寿美(篠原) 再任

町の中核病院に位置付け

瑞穂病院を京丹波町病院に名称変更

質美診療所は病院附属診療所

20年第4回定例会は、12月8日から19日までの12日間の会期で開催されました。本定例会には、教育委員の任命・条例の制定、補正予算など、22議案が提案され全議案を同意・可決しました。一般質問には6人の議員が立ち、25項目について執行部の所見を求め、疑義をただしました。

条例の制定・改正

京丹波町病院事業条例の制定、ほか3条例の制定・改正案が提案され、全議案を可決しました。

京丹波町病院事業条例の制定

町立医療施設の中核病院として、機能を充実させることや質美診療所の附属化による運営の一体化を図り、保健、福祉、介護の連携の拠点として、その任務と管理運営を定めるもの。(全員賛成)



名称変更となる瑞穂病院

問 皮膚科と肛門外科の診療日数と体制はどうなるのか。

課長 皮膚科は月2回第2、第4水曜日、肛

門外科は第3月曜日の予約診療で継続して行う。

問 19年度決算で5390万円余りの単年度

純損失で、前年度を含めると9567万円の欠損が生じている。一般会計からも多額の繰入れがされているのが病院経営の実態である。皮膚科と肛門外科の収支はどのようになるのか。

課長 肛門外科は、常勤医で対応するので、費用は増えない。皮膚科は、非常勤医師で行っているが、月平均30人余りの患者数を見込んでおり、収支は採算ベースとなる見込み。

問 経営改善を今後も続けていただき、選択肢の中には民間への経営移譲もありうるのか。

町長 今の思いとしては、最終段階の民間移譲を選択肢として考えていない。まずは経営安定に向けて努力をすることに、全精力を傾けたい。

国民健康保険条例の改正

問 2個以上希望される場合も購入できるか。

課長 町としては2個を限度として助成する。それ以上は区の判断となる。

問 金融危機のなかで、町内業者の実態をどの程度把握しているのか。

課長 振興局単位で対策本部が設立されており、その中で対応したい。町内の大手5社の調査では、派遣社員は339人、契約社員は85人という状況である。今後、中小企業の緊急融資補償制度のパンフレットを配布する。

問 歯科診療所の臨時雇用賃金が減額となっている要因は。

課長 賃金の減は、臨床研修医の受け入れが、今年度上半期になかったため。

介護保険事業特別会計

問 次年度の事業計画用の認定ソフトとはど

産科医療保障制度の創設に伴い、その掛金分として、出産育児一時金の支給額を3万円加算するもの。(全員賛成)

委員会設置決議

問 医療事故に対する保険をかけることになっているが、民間で1社と聞いているが、それで問題は生じないのか。

課長 現在のところは1社であるが、今後は増えるかもしれない。

議員定数等検討委員会を設置

議会の活性化や住民の意思を反映するため議員の定数等について調査研究する、議員定数等検討委員会を設置した。委員は議長を除く議員全員の15名で、委員長に小田耕治議員、副委員長に今西孝司議員を選出した。

問 どのようなものか。

課長 来年度から認定の調査項目が変更となるため、認定調査用パソコンを購入するもの。

問 各種サービス事業の利用者の増加の内訳は。

課長 通所リハビリが月16件の増。短期入所が月77件の増。グループホームの利用は、月2件の増。居宅介護福祉用具は、便座や特殊尿器など、今後利用増が見込まれる。

町営バス運行事業特別会計

問 年末の臨時バスのダイヤを変更できないか。

町長 今月の29、30日の両日に、現行ダイヤどおり運行したい。

20年度 主な補正予算

Table with 4 columns: 会計名, 補正額, 補正後の額, 主な内容. Rows include 一般会計 (total 103億4,380万円) and 特別会計 (total 1億1,798万円).

補正予算

今回、1億510万円を減額する一般会計補正予算、国民健康保険ほか5件の特別会計補正予算が提案され、全議案を可決しました。

主な質疑

一般会計

問 火災警報器の購入に際して任意団体の区長会が入札することに問題はなにか。

課長 町の入札に準じて業者を決定していただくなど、区長会として最善の方法を検討していただきたい。

問 経営不況のおり、地元業者が入札に参加できるような方法は考えられないか。

課長 町内業者に公平に仕事を発注できるか区長会での検討課題である。



住宅用火災警報器

林業試験場存続を 山田知事に意見書提出

林業試験場は和知地区をはじめ、府下の山林所有者や生産森林組合など、各方面から親しまれ指導も含めて施設の存在自体が林業意欲を喚起するなど大きな役割を担ってきた。今後も住民から必要とされる林業試験場の機能充実・強化を求め、

- 左記事項について強く要望した。
- 1 府内での研究拠点として将来にわたり存続させるとともに、林業振興の研究体制を強化すること。
 - 2 木材利用推進等の指導体制の強化を図ること。
 - 3 木質ペレットのバ



小石原副知事に意見書を提出（12月9日）

イオマス燃料、キノコ栽培の技術開発及び普及拡大への研究

の充実を図ること。
(全員賛成)

森林・林業振興対策の 強化に関する意見書提出

森林・林業基本法第26条に基づく輸入制限や林業・木材産業の再生に向けた強力な施策を講じられるよう強く国に要望する。
(全員賛成)

請願

耐震改修助成制度の 創設を求める請願

〔要旨〕本町の耐震改修促進計画の策定が急がれている。府の策定した耐震改修助成制度は町が同制度を立ち上げないと利用できない。本町も制度の創設を急ぎ住民への公表とともに助成対象の要件緩和、府の助成額の不足を補うよう請願。
〔審査結果〕趣旨採択

子どもへの国保証の 発行を求める請願

〔要旨〕子どもには資格証明書を発行せず正規の保険証を発行すること、国民健康保険税を引き下げることが請願。
〔審査結果〕継続審査

要望書1件を受付
*林業試験場存続を
求める要望書
和知地区区長会

各議員の賛否

平成20年12月定例会

同意4、諮問4、議案10、発委3、請願1の審議結果です。主な議案のみの表示です。議案は全て全会一致で賛成しました。

審議結果	議員名	藤田 正夫	坂本美智代	山内 武夫	畠中 勉	今西 孝司	東 まさ子	小田 耕治	横山 勲	西山 和樹	山田 均	室田隆一郎	篠塚信太郎	吉田 忍	野口 久之	野間 和幸	岡本勇(議長)	
可	病院事業条例の制定	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
可	国民健康保険条例の一部改正	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
可	平成20年度一般会計補正予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
可	平成20年度介護保険会計補正予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
可	平成20年度水道会計補正予算	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席

臨時議会

条例改正

教育委員の定数条例

教育委員の数の弾力化や、委員への保護者の選任が義務化されたことに伴い、1名増員し委員会体制の充実を図るもの。
(全員賛成)

請負契約

CATV拡張整備 工事請負契約

契約金額6919万5千円で、協和テクノロジーズ(株)京都営業所と契約締結。
(賛成11 反対3)

〔問〕 予定価格や入札参加者は、1億447万5千円。入札参加者は4社、応募業者は3社。

〔問〕 全体工事の進捗状況は、共聴組合への説明の頻度をあげるべきではないか。

〔課長〕 進捗状況は、計画事業費で35%くらい。共聴組合への話し合いを持ち、内容などの説明をしていく。

管外視察報告

美郷町

有害獣対策に農家が主体となって駆除の意識での組織体制整備と、夏場の猪を地域資源としてブランド化を進められている島根県美郷町を11月25日に視察した。
また、集落営農組織による「そば」などの、地域特産物振興について一体的に取り組みを進められている出雲市に、今後のまちづくりを資することを目的として11月26日に視察した。



↑おおち山くじらの商品研修(美郷町の加工場)

逆転の発想で、夏場の猪を地域資源として、農家が主体となつての駆除意識で組織体制整備と「おおち山くじら生産組合」による猪の生体の搬送運搬、解体、商品開発と販売までの一環した取り組み、大学の研究機関との連携による駆除対策と防護対策、有名ホテルなどとの夏場猪肉のブランド化などの取り組みに感銘を受けた。

出雲市

出雲そば生産組合では、出雲産そばで打った出雲そばにこだわり、行政、商工会、観光協会、生産者団体が一体となり、面積拡大と営農指導の一体的取り組みを進められているとともに、經理を一元化した組織とし転作地と水稲作付け地、認定農家への貸し出し農地など、全てについて地権者の利益が公平になるなどの取り組みがされていた。

↓出雲そばの取り組みの研修(JAいずも)





山内武夫 議員

学校統合には十分な協議の場が必要だ

総合的に判断した 町長

問 今回の計画は、役場内部で統合時期や場所を決定するという一方的な進め方である。保護者や学校、地域住民との協議の場が必要ではないか。

町長 児童の安全を最優先に考えた上で、旧瑞穂町での答申や教育懇談会の意見などから総合的に判断した。今後、専門の委員会の設



統合が検討されている三ノ宮小学校

問 位置を考えている。

問 松山小学校は、オイルショック時の建築で大変危険である。あえて松山小学校に統合するとした理由は何か。

町長 耐震診断の結果を待ちたいが、喫緊の対応として松山小学校に統合したい。一部劣化も見られるが、特段の問題はないと思う。

問 耐震診断の結果、

問 土曜日のバス運行をすべき

問 土曜日のバス運行の廃止は、その地で暮らしていけないことを意味する。また、中学生のクラブ活動に親や教師が送迎しているが、保護者からの要望に、どう応えるのか。

町長 新たな人員の確保と膨大な経費の増加



土曜運行の要望がある町営バス

危険校舎と診断された場合、来年度以降どうするのか。

町長 基準を下回った場合の判断は、その時点で国・府の指導を仰ぎながら検討したい。

問 いま5億円もかけて緊急避難的な校舎改修をしなくても、現にある立派な三ノ宮小学校を活用できないのか。

町長 松山小学校の耐震化と大規模改修により全児童を受け入れられる。将来的には児童数も減少し、校舎建築も考えられる。

となり、現状では要望にお応えできる環境にはない。

問 無限の可能性を秘めた生徒のクラブ活動に最大限の支援をすべきであり、土曜日の朝晩2回のバス運行をすべきだ。

町長 全町的な問題であるが、中学校間でも考え方が統一されておらず、即運行につながる

らない一面もある。土曜運行となれば、年間1千万円以上が必要で、財政面からも運行は考えにくい。

問 クラブの送迎の実態や、病院の通院実態の調査もすべきだ。

町長 最小限の足の確保は担保すべきと思う。現状がベストとは考えておらず、提言を含めて検討していきたい。

一般質問 ここが聞きたい



今西孝司 議員

新庁舎の建設を

一定の整理がついてから 町長

問 合併特例債が使える間に、庁舎の建て替えを行うべきではないか。また、瑞穂・和知の支所を有効利用してコンパクトな庁舎とすべきではないか。

町長 CATV拡張事業・小学校統合などをすすめており、財政基盤の安定などを考慮し検討していきたい。

問 酪農家の飼料価格高騰に援助を

問 輸入飼料価格が高騰している、自給飼料

の作付け拡大などへの指導と援助が必要では。

町長 輸入飼料に依存しない自給飼料生産体制が重要と考える。今後は、交付金の活用、耕畜連携による生産体制を確立していきたい。

耐震住宅助成制度を

問 山田知事の選挙公約であり、府内の市町村でも次々と導入がされている、本町も導入をすべきであるか。

町長 自主財源が少ない本町では、すぐに実施することは困難。府の住宅改良資金を利用いたしたい。

職員の役職定年は廃止を

問 職員の役職定年が55歳となっているが廃止すべきだ。長年の経験を発揮していただくことが町にとってはプラスではないか。

町長 定員適正化計画による人員の削減、人件費の抑制に努め、能力のある職員は、若くとも登用したい。

府道京丹波三和線の下山地域の改良を

問 畑川ダムも、下山バイパスも下山だけのものではない。それに伴う付帯工事が大切。府道京丹波三和線とを結び架橋が必要だ。



早期改良が求められる府道京丹波三和線（下山駅前）

町長 機能的、有機的に交通網を整備しネットワーク化を図るためにも、要望を続ける。

子どもに資格証明書はもつてのほか

問 リストアップなどにより、無保険家庭が増え

ている。自民・民主が共同提言で、短期保険証の配布を提言したが、早く実現させるべきだ。

町長 国会審議を見守りたいが、基本的には世帯主に納付義務を果たしてもらおうことが当然である。



坂本美智代 議員

統合は住民の意見を反映したものに

耐震診断の結果をみて 町長

問 瑞穂地区での小学校統合への方向性が出された。今後、保護者や地域住民との教育懇談会の予定はどうか。

町長 耐震診断の結果をもって判断したい。

問 複式学級の解消も統合への1つだが、児童にとって望ましい人数は何人と考えるのか。

教育長 京都方式では1学級30人から35人が望ましいとしており、これと同様である。



赤サビ屋根の質美小学校

問 松山小学校への理由として、中学生と同じスクールバスが使える効率的としているが、長時間の通学は、子どもたちにとって体力的にも大きな負担となり、学力にも影響がでるのではないか。スクールバスの対応やバス代などの考え方は。

町長 具体的に検討している。料金も町内統一と考えている。

問 明俊・質美小学校

問 耐震診断結果をうけるの対応は、検討されているのか。

町長 危険度が高い場合、児童の安全安心を基本として判断したい。

問 質美小学校の校舎と体育館の屋根が赤サビでひどい状況である。明俊小学校ではアスベストの除去が残されており、最優先されるべきである。早急に対応すべきではないか。

教育長 質美小学校の屋根は雨漏りもしていないため見送りたい。明俊小学校の渡り廊下のスレート屋根は非飛散性素材ではあるが、応急手当として対応したい。

字幕放送「心えて」



修繕が求められる町道（松山質美線）

問 町道の管理責任は町にある。維持管理の不行き届きで事故が起れば、損害賠償を請求される事もある。関係する地域住民との話し合いの場を十分にもち、維持管理の内容を明確にすべきである。

町長 予算の範囲内であり、適宜対応している。

町道の管理責任は

問 予想できない事件が起きる現在、安心して働き続けるためにも対象学年の引き上げの考えはないのか。

教育長 状況を見ながら検討していきたい。

学童保育の拡充を



しきみ山に工夫された山林（上乙見）



野間和幸 議員

具体的な農林振興策を

産官学連携による検討、研究を 町長

問 農林業の多面的な価値が評価されているが、生活基盤を持ちにくいことに変わりはない。これまで以上の振興策の工夫が求められる。

ている。

公社による特産品開発の試験栽培や研究などを指導すべきではないか。また、山林資源を活用した研究開発を府に提案してはどうか。

さらに産業界、森林組合、大学の連携で取り組むべきと考えるが。

町長 多くの集落で交付金などを活用し農地・山林などを保全していただいている。今後も将来を見据えた活用方法の検討を進めていただき、必要に応じて関係機関が支援に参加する地域主体の町づくりが大切。

従来の特産品に加えて、収益性の高い新たな特産物の導入も農業

振興の有効な手段。農業技術者会を中心に、本町に適した作物の研究を行い農家の協力を得て実践していきたい。

木材資源の活用と循環型社会の実現を図るためにも行政、地域住民、企業など多様な主体の連携による検討・研究が重要である。

林業試験場などにおいても用材とは別に森林をいかに活用していくかを研究し、価値を深めていただけることで林業振興も進んでいく。

水道料金設定はやはりに検討すべき

問 本町の水条件や環境問題、さらに基本水量以下の利用者の実態を考えると使用水量を節約すれば安価に利用できることが基本であり、大口使用者も割安感を得るよう、さらに検討すべきではないか。

町長 水道料金の統一

職員の適正化計画は

は、合併後3年をめどと理解されたと考えている。基本水量を大きく下回る方への配慮など課題はあるが、理解いただける内容を提示したい。

問 行政改革の最大の目玉は人員削減だと考えるが、定員適正化計画に照らし合わせ、どの程度進んでいるのか。また、今以上の職員

の有効活用が求められるが、具体的な取り組みは。

町長 適正化計画の進捗状況は、ほぼ計画通り達成している。現在の職員数を最大限生かしながら、住民の期待にこえられる行政組織として、きめ細やかに展開すべしと考えている。職員も自主的な協働のまちづくり検討チームを立ち上げており、私も先頭に立っていく。



改良された水道施設（仏主）



山田 均 議員

安心して暮らせる町づくりを最優先に

歳出削減に取り組むことが必要 町長

問 平成21年度予算編成について問う。

① 町民が安心して暮らせる町づくりを最優先にした重点施策は。

② 経済と暮らしが大変なとき、雇用対策や中小零細企業対策、「対策本部」設置など相談窓口の開設の取り組みは。

③ 農業振興対策では、



抜本的な有害鳥獣対策を

重点作物への奨励金の重点配分や部会など組織強化の支援をすべき。

④ 鳥獣害対策で、狩猟が目的の猟友会員と駆除だけを目的にしている人とは分けて取り組むべきでは。

⑤ 希望の集落へは出向き懇談会の開催や専用電話、FAXなど提言・意見を受けるなど、協

働の町づくりを進めるべきでは。

町長 ① 継続事業を中心に、将来を考えると歳出削減に取り組むことが必要である。

② 安心借り換え制度の活用などで対応をし、対策本部などの設置は考えていない。

③ 重点作物への支援や部会の取り組みなどで生産意欲を高めることが必要と考える。

④ 駆除は猟友会にお願いしていく。

⑤ 担当部署を設置して取り組んでいる。

医療施設は公設・公営が基本



老健への移行は住民合意が第一（和知診療所）

問 和知診療所の病床を老人保健施設へ移行すれば運営はできるのか。また、指定管理者制度を考えているのか。住民が参加する検討委員会を設置して住民合意を図るべきではないか。

病院の運営やあり方

の考えはどうか。直通バス運行など研究や検討が必要ではないか。

町長 医師の確保と課題がクリアできれば転換も一つの考え方であり、指定管理者制度も選択肢の一つである。病院は、町民から支えてもらえる様にした。持続可能な施設として取り組んでいく。交通アクセスの整備は

橋梁の歩道設置は急務

不可欠と考えている。

問 国道27号の中山・白土間の白土橋の歩道設置は急務である。国土交通省に強く要請すべきだ。

町長 地元区からも要望をいただいている。引き続き要請していきたい。



増設された下山浄化センター



東 まさ子 議員

水道料金を下げて 基金は住民に還元を

将来の財源不足、借金返済に 町長

問 水道料金の統一で、和知地区は基本料金が約10000円の負担増となる。暮らしが厳しい下で、「値上げはやめて」が住民の願いで

ある。4億5740万円の基金を活用して料金を下げ、住民に還元すべき。

町長 基金は将来の財源不足、地方債の償還に充てたい。

問 和知地区の負担増は2000万円と試算されているが、丹波・瑞穂の水道料金は府下でも高額ではないか。

町長 和知地区では、昭和61年から料金改定がされていない。引き上げはやむを得ない。

課長 近隣5市町の水道料金は、10㎡あたり最高が本町の2670円、最低が福知山市の1080円、平均が1807円である。

問 下水道の使用料は、

介護サービス事業の実績は

問 3期（18年度～20年度）介護サービスの利用実績はどうか。

町長 実績は、計画の98・4%の見込みである。事業の目的は、個々に対し必要なサービスを行うもので、給付費の多少などで評価するものでない。

国保証の交付を

問 悪質な滞納者を除き、子どもに限らず保険証交付を。

町長 国保法改正案が国会で審議中であり、成立すればそのように対応する。しかし、資格書の発行は納付相談に応じない方などを対象としており、今後ともきめ細かな対応を図りながら滞納の解消に

町の責任で管理を

努めたい。

問 旧浅田農産跡地の草刈りが西部6区で実施されたが、町としては何もしないのか。

町長 企業の力を借りて整備をしたいと思っただが誘致は断念した。今後も、西部6区の自主的な協力を得ながら、適切な管理を行いたい。



旧浅田農産跡地（安井地内）